
平成23年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成23年2月28日

質問者（質問順）

- 1 土志田 三津夫 委員（民主党）
- 2 望 月 康 弘 委員（公明党）
- 3 河 治 民 夫 委員（共産党）
- 4 坂 井 太 委員（自民党）
- 5 芥 藤 達 也 委員（自民党）
- 6 今 野 典 人 委員（民主ク）
- 7 宇都宮 充 子 委員（ネット）

交 通 局

局 別 審 査

1 土志田 三津夫 委員（民主党）

1 平成23年度予算案の概要について

- (1) 23年度予算案における自動車事業会計の営業損益、経常損益はいくらか、また、前年度予算と比較してどうか。
- (2) 前年度予算に比べて黒字額が増加しているが、その理由は何か。
- (3) 企業にとって、最も重要な乗車料収入の減少を見込んでいるが、その理由は何か。また、収入確保に向けて23年度はどのような取組を行っていくのか。
- (4) 23年度予算案における高速鉄道事業会計の営業損益、経常損益はいくらか、また、前年度予算と比較してどうか。
- (5) 前年度予算に比べて黒字額が増加しているが、その理由は何か。
- (6) 高速鉄道事業における今後の経営課題は何か。

2 バス路線の維持について

- (1) 現行路線の維持についての基本的な考え方について、伺いたい。
 - (2) 「ふれあいバス」の利用状況はどうか。
 - (3) 今後、「ふれあいバス」を拡大していく考えはあるのか。
- (要望) 乗り継ぎ運賃制度の拡充やさらに高齢者の生活を守るためにも、現行路線の維持や新たな「ふれあいバス」路線の新設を望む。

3 貸切バス事業の強化について

- (1) 貸切バス事業を強化していく理由と民間バス会社と比較して優位な点は何か。
- (2) 22年度に実施した貸切バスの増収策とその効果について、伺いたい。
- (3) 23年度はさらに増収を図るとしているが、どのようなことを計画しているのか、また、どのくらいの増収を目標としているのか。

4 プロスポーツとの連携について

- (1) プロスポーツとの連携について、交通局としてどのような取組を行ってきたのか、また、今後どのように進めていくのか。
- (2) 実施したプロスポーツの観客輸送について22年度の内容と実績はどうか、また、今後どのように進めていくのか。

5 地下鉄の資産活用について

- (1) 高速鉄道事業において、これまで、具体的にどのような資産活用に取り組んだのか、また、収入について22年度の見込みはどうか。
- (2) 23年度の資産活用の取組をどのように考えているのか。
- (3) 駅での芸術の発表やコンサートの実施等について、これまでの実績と今後の考え方について、伺いたい。
- (4) 現在、地下鉄の広告スペースは本市の事業やイベント等の広報にどの程度活用されているのか。
- (5) 公営交通として、広告スペースを使ってシティーセールス的な役割を担うという考え方があっても良い。また、相乗効果で企業広告の誘致にもつながると思うが、見解を伺いたい。

6 グリーンラインについて

- (1) 開通後の1日当たりの乗客の推移はどのようになっているのか、また、22年度目標を達成できるのか。
- (2) 新たな目標を設定したと聞いているが、それはどのような目標なのか。
- (3) 乗客を増やしていくために、今後どのような取組を行っていくのか。

7 あざみ野駅の改修について

- (1) 23年度は駅ホームの冷房化工事に着手すると聞いているが、事業のスケジュールはどうか。
- (2) 利用者の増にともなって、エスカレータの増設について地元でも要望が多くなっているが、設置についてどのように考えているのか。

(要望) 横浜市では、あざみ野駅から小田急線新百合ヶ丘駅への延伸の着工についても23年度に検討を開始すると聞いている。これが実現すると市営地下鉄は小田急線とも連絡することとなり、横浜市北部から横浜都心部への繋がりが強化され、同時に東京都心へのアクセスも改善されると思われる。交通局に要望することではないが、この場を借りて、是非、早期工事着工を要望する。

2 望 月 康 弘 委員（公明党）

- 1 「市営交通5か年経営プラン」から見た平成23年度予算案について
 - (1) 23年度予算案における、「市営交通5か年プラン」の経営目標の達成状況はどうか。
 - (2) 「市営交通5か年経営プラン」の重点施策について、23年度に目標を達成する主な項目は何か。
 - (3) 目標の達成が困難な重点施策は何か。
 - (4) 「市営交通5か年経営プラン」の目標達成状況を踏まえ、現在の課題は何か。
 - (5) 23年度を「改善型公営企業を完成させ、未来へ繋げる年」と位置づけた思いは何か。

- 2 経費節減・効率化について
 - (1) 20年度から22年度までの主な取組内容とその効果額はどうか。
 - (2) バス営業所の事故担当助役の廃止について
 - ア 事故担当助役を廃止する目的は何か。
 - イ 事故担当助役を廃止して、今までの事故処理業務の対応が維持できるのか。
 - (3) 地下鉄保守業務の直営化及び保守管理所の体制見直しについて
 - ア 地下鉄保守業務の直営化の具体的内容は何か。
 - イ これまでは直営業務と委託業務をどのように分けていたのか。
 - ウ 業務の直営化により業務量が増加する分はどのように補うのか。
 - エ 今後も直営化の取組を継続するのか。
 - オ 保守業務の体制見直しの具体的内容は何か。
 - カ 保守業務の体制を見直すことで、どのように改善されるのか。
 - (4) 駅業務委託の拡大について
 - ア これまでの駅業務委託の委託内容はどのようなものか。
 - イ 新たに実施する助役業務の委託内容はどのようなものか。

ウ 安全性やサービス水準が維持されることが前提であると思うが、どのように確保するのか。

エ 今後も助役業務の委託は拡大していくのか。

3 新横浜駅での地下鉄・バス乗換サインについて

(1) 23年度に新横浜駅に地下鉄・バス乗換サインを設置する理由は何か。

(2) 新横浜駅で地下鉄・バス乗換サインを設置するにあたって工夫する面は何か。

(要望) 将来、神奈川東部方面線が開通し、新横浜駅にも新たに駅が設置されるが、新横浜駅は市外からの利用者も多いことから、利用者にとってわかりやすい、利用しやすい案内サインづくりに向け、今後も機会を捉えて関係機関に働きかけることを要望する。

4 地下鉄駅構内の店舗事業について

(1) 22年度に地下鉄構内で店舗を設置した実績はどうか。

(2) 横浜駅地下1階コンコースの店舗設置による効果はどうか。

(3) 23年度の日吉駅の店舗誘致はどのように進めていくのか。

5 自動車事業における環境対策について

(1) 低公害バスの導入状況はどうか。

(2) 電気式ハイブリットバスの燃費向上面やCO₂の削減の面での効果はどうか。

(3) バイオディーゼル燃料車を22年度から試行導入しているが、現在の運行状況はどうか。

(4) バイオディーゼル燃料車をどのように評価しているのか。

(5) 23年度にバイオディーゼル燃料車の拡充を行う考えはあるのか、また、拡充にあたっての課題は何か。

(6) ドライブレコーダーの導入状況はどうか。

(7) ドライブレコーダーを全車に導入する理由は何か。

(8) ドライブレコーダーを燃費向上に、どのように活用しているのか。

6 自動車事業における地域貢献について

(1) 「ふれあいバス」の利用者からはどのような声があるのか。

(2) 市営バスは経営状況が厳しい中でも、地域貢献に取り組んで欲しいと考えるが、見解を伺いたい。

3 河 治 民 夫 委 員 (共 産 党)

1 公営交通の役割について

- (1) 公営交通の役割、理念は何か。
- (2) 「ふれあいバス」の運行に至った経緯について、伺いたい。
- (3) 「ふれあいバス」の当初計画時に採算性について検討したのか。
- (4) 利用者からどのような声が寄せられているのか、また「ふれあいバス」をどのように評価しているのか。
- (5) 「ふれあいバス」を拡大する考えはあるのか。
- (6) 保土ヶ谷区のバス路線22系統の路線の新設に至った経緯について、伺いたい。
- (7) 218系統の路線の一部新設を実施すると聞いているが、この経緯について、伺いたい。
- (8) 高齢化社会が進展する中で、ミニバス運行の住民要望があるが、どのように考えているのか。
- (9) 高齢化社会が進展する中で、バス路線増設の住民要望に応じていくにあたっての現状について、伺いたい。
- (10) 高齢化社会が進展する中で、バス路線増設の住民要望に応じていくにあたっての現状について、改めて副市長に伺いたい。
- (11) バス路線増設の住民要望について、本市の考え方を伺いたい。
- (12) 他の都市の公営バスで補助金を出しているところはどこか。
- (13) 高齢化社会が進む中で、住民の交通を保障するとして他都市では、任意補助金を出しているが、本市ではどのように考えているのか。

1 路線経営の推進について

(1) 輸送力の適正化について

ア 22年度に実施した路線経営の考え方はどのようなものか。

イ 輸送力の適正化を行った路線はいくつあるのか。

ウ 適正化の結果、どのような改善があったのか。

エ 「輸送力の適正化」以外に、これまで路線経営を推進するためにどのようなことに取り組んだのか。

オ 取組の効果はどうか。

カ 今後、運行ルートの見直しを行う予定路線はあるのか。

キ 23年度は路線経営を含めた増収策として、どのようなことに取り組んでいくのか。

(2) 路線沿線地域との連携について

ア バス路線沿線地域への利用促進策として、これまでどのようなことに取り組んできたのか。

イ 取組の効果はどうか。

ウ 今後、沿線地域の利用促進に向けてどのような取組を進めるのか。

2 お買い物バスについて

(1) 現在の利用状況、利用者からの声はどのようなものがあるのか。

(2) 利用促進のため、どのような取組を行ったのか。

(3) 今後、他の地域で拡大する考えはあるのか。

3 ダイヤ改正について

(1) 市営地下鉄のダイヤ改正について

ア 地下鉄のダイヤ改正の際の基本的な考え方について、伺いたい。

イ 22年度のダイヤ改正はどのような内容だったのか。

- (2) 22年度の地下鉄のダイヤ改正に合わせて、市営バスではどのようなダイヤ改正を行ったのか。
- (3) 地下鉄とバスを乗り継ぎしやすいダイヤにすることが、利用者の増加や利便性の向上の点で重要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。
- (要望) 今後も地下鉄とバスの両方を経営している事業者としてのメリットを最大限に活かして、ダイヤの相互連携を図るとともに、さらに、他の交通機関との接続も改善して、利便性を高めるよう要望する。

4 貸切バスについて

- (1) 23年度の貸切バスの事業収入はどの程度を見込んでいるのか。また、22年度と比較してどうか。
- (2) 企業などから継続的に受注している「貸切」はどの程度あるのか。
- (3) 企業などからの継続的な「貸切」は積極的に拡大していくべきと考えるがどうか。
- (4) 今後、貸切バスをどのような位置づけとしていくつもりなのか。

5 広告料収入について

- (1) バス広告について
- ア 収入予算が前年度と比較して減少している理由は何か。
 - イ 今後、販売促進のためにどのように取り組むのか。
- (2) 地下鉄広告について
- ア 収入予算が前年度と比較して減少している理由は何か。
 - イ 今後、販売促進のためにどのように取り組むのか。
- (3) 市営交通広告について今後どのような展望を持っているのか。

5 齊藤達也 委員（自民党）

1 市営バス事業の中長期収支見通しについて

- (1) バス事業の収支見通しについて、事業管理者としてどのように受け止めているのか。
- (2) 収支見通しが悪化している主な原因は何か。
- (3) 給与水準は民間事業者と比較して、どの程度の差があるのか。
- (4) 退職金の負担は現在どの程度か。また、ピーク時の所要額はどの程度か。
- (5) 給料や退職金など人件費の問題に対して、どのような対応を考えているのか。
- (6) 人件費の問題に関する現在の進捗状況、今後の見通しはどうか。
- (7) バスの運行委託について、現状を伺いたい。
- (8) 運行委託の拡大に向けた検討や課題について、伺いたい。
- (9) 委託先の正社員であるバス運転手と交通局職員であるバス運転手の年収はどのくらい差があるのか。
- (10) 年収格差を是正する考えはないのか。
- (11) 「市営交通5か年経営プラン」の期間中の乗車料収入の推移はどうか。
- (12) 今後、乗車料収入はどのように推移すると見込んでいるのか。

2 労働基準監督署からの指摘事項について

- (1) 昨年8月に保土ヶ谷営業所において、労働基準監督署の立ち入り調査を受けたと聞いているが、どのような指摘を受けたのか。
- (2) 是正勧告に対する改善状況について、伺いたい。
- (3) 改善の取組で、今後どのような点が課題となるのか。
- (4) 交通局の経営のあり方についてどのように考えているのか。

3 増収の取組について

(1) 地元プロスポーツチームとのタイアップチケットについて

- ア 購入者にとって、どういったメリットのあるチケットなのか。
- イ 今回のチケットを販売する目的は何か。
- ウ 他のプロスポーツチームともタイアップしていく予定はないのか。

(2) 横濱ベイサイドラインについて

- ア 過去3年間の決算における収支状況の推移はどうか。
- イ 22年度の「横濱ベイサイドライン」の収支と利用者数の見込みはどうか。
- ウ 「横濱ベイサイドライン」の利用状況にはどのような特徴があるのか。
- エ 22年度は集客に向けてどのような取組を進めてきたのか。
- オ 事業の黒字化に向け、どのように取り組んでいくのか。

4 お客様サービスの向上について

(1) バス停留所上屋の整備について

- ア 現在の上屋の整備状況はどうか。
- イ 上屋の整備が可能なバス停がどのくらいあるのか調査すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ウ 広告付き上屋を整備することのメリットは何か。
- エ 広告付き上屋の整備が景気低迷の影響もあり進んでいないと聞いているが、今後の見通しはどうか。
- オ 広告付き上屋の整備が進まない場合に、交通局独自で上屋を整備する考えはないか、伺いたい。

(要望) バスを待つ際の快適性を向上させ、より多くの市民の皆様にご利用いただけるよう上屋整備についての努力を要望する。

(2) ふれあいバスについて

- ア お客様からの声をどう把握しているのか。
- イ お客様の声にできるだけ応えるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(3) 地下鉄内での携帯電話などの利用について

ア 携帯電話電源OFFエリアとマナーモードエリアを分けると聞いているが、どのように携帯電源OFFエリアを設定するのか。

イ 通信事業者と協力して、東京や大阪のように携帯情報端末が常時接続できた場合には、どのような点が課題と考えているのか。

(要望) 地下鉄をご利用のお客様に、安心かつ快適にご利用していただけるよう車内マナーを徹底し、導入に向けては積極的に取り組むことを要望する。

5 地下鉄の安全対策について

(1) 18年12月1日にセンター北駅で発生した触車事故の原因と背景は何か。

(2) 同種の事故の再発防止のために実施した対策は何か。

(3) 保守作業の安全を確保するために現在の取組はどうか。

(4) 取組による成果はどうか。

(5) 23年度は安全確保のためにどのようなことに取り組むのか。

6 市営地下鉄の延伸について

(1) 国の運輸政策審議会の答申で整備の優先度が高いとされている市営地下鉄3号線の新百合ヶ丘までの延伸の事業化が検討されていること、また、その後、検討されるであろうグリーンラインの延伸について、交通事業管理者としての所感を伺いたい。

7 交通局の役割について

(1) 横浜市にとって交通局は、どのような役割を担っていると考えているのか。

6 今野典人委員（民主ク）

1 グリーンラインのダイヤ改正について

- (1) 前回のダイヤ改正後にお客様からどのような声が寄せられたのか。
- (2) 今回のダイヤ改正では、お客様の声をどのように反映していくのか。

2 ITを活用した市営バスの情報提供について

- (1) バス接近表示機の整備状況及び23年度に整備する予定台数はどうか。
- (2) バス接近表示機の整備にあたっての考え方について、伺いたい。
- (3) 携帯電話などの携帯端末からはどのような情報が得られるのか。
- (4) 23年度はどのような取組を考えているのか。

3 マスタードライバー制度について

- (1) マスタードライバー制度を導入する目的は何か。
- (2) マスタードライバーはどのような乗務員を対象と考えているのか。
- (3) マスタードライバーには何を期待するのか。
- (4) マスタードライバーにはどのようなメリットがあるのか。

4 職員表彰制度について

- (1) どのような職員を対象に表彰しているのか。
- (2) 優良職員の表彰件数について、過去3年間の推移はどうか。
- (3) どのような表彰者が増えているのか。
- (4) 今後、表彰制度をどのように見直していくのか。

7 宇都宮 充 子 委員（ネット）

1 職員提案制度について

- (1) 職員提案制度のねらいと提案制度の内容は何か。
- (2) 改善事例報告について、過去3年間の件数と内容はどうか。
- (3) 正規職員と公募職員の提案の状況はどうか。
- (4) 改善事例が増えた要因は何か。
- (5) 職員提案制度について、どのように評価しているのか。